

2022年度

# Web認定研修会

(指導医研修会・認定医教育研修会共催)

## 第1部

### パーシャルデンチャーを極める

#### 配信期間

第1クール 2023年2月3日(金)・4日(土)・5日(日)

第2クール 2023年2月10日(金)・11日(土)・12日(日)

## 第2部

### 歯科界から発信する国民の健康長寿と未来

#### 配信期間

第1クール 2023年2月17日(金)・18日(土)・19日(日)

第2クール 2023年2月24日(金)・25日(土)・26日(日)



かめるをたしかめる  
特定非営利活動法人  
日本顎咬合学会  
THE ACADEMY OF CLINICAL DENTISTRY

# 2022年度 Web 認定研修会（指導



理事長  
黒岩 昭弘

第15代日本顎咬合学会理事長の黒岩昭弘です。よろしくお願いたします。本年は認定研修会と指導医研修会を共催で行わせていただきます。これに至ったのは現状での研修会はコロナ対策を含め、なるべく会員の皆様の負担を軽減すること、そして多くの方々が聴講できることを目論んでいます。一方、指導医研修会は昨今の事情で昨年はWEB開催となりました。その時、参加人数も増えたので充実した内容をさらに多くの方にお伝えできないかということで今回の共催となりました。

それにともない、今年の研修会でも参加資格を拡大しました。是非とも指導医を申請する若い先生方にもお声がけいただきますようお願いいたします。今回の講演を聴講することによって皆様にはさらに見識を広めていただき、まだ認定医や指導医でない会員の方々にも伝えていただきたいと思ひます。そして日本歯科専門医機構認定の専門医制度もいよいよ発進します。今後、日本顎咬合学会会員が歯科界のリーダーとして、輝けるようにご尽力いただけることをお願い申し上げます。

## 第1部

## パーシャルデンチャーを極める

### 講師

亀田 行雄 先生（埼玉県開業 かめだ歯科医院）

谷田部 優 先生（東京都開業 千駄木あおば歯科）

### 配信期間

第1クール 2023年 2月3日(金)・4日(土)・5日(日)

第2クール 2023年 2月10日(金)・11日(土)・12日(日)



### 残存歯を守るパーシャルデンチャー ～押さえておきたい原則

亀田 行雄

(医療法人D&H かめだ歯科医院)

近年口腔内への健康意識の高まりとともに、高齢者の現在歯数も増え無歯顎者率は減少している。

そのため高齢であっても歯のある、部分欠損の患者を治療する機会は増えてきている。ところがパーシャルデンチャーを装着している患者では、むしろ歯があることで、残存歯を支点に義歯が回転し噛みにくくなり、難症例になることもある。そのような患者への機能回復は、これから我々が取り組むべき大きな課題である。

ただしパーシャルデンチャーの目的として、機能回復つまり良く噛めることだけでは不十分である。もう一つ重要な目的は残存歯の長期保全であり、そこが総義歯治療とは大きく異なる点である。そのためパーシャルデンチャーの症例では、長期にわたりメンテナンスを継続し、観察し評価する必要がある。

残存歯が長く保つためには、まずは歯周環境の整備が重要であり、さらに残存歯に負担をかけない、残存歯を守るパーシャルデンチャーを製作することが必要となる。

まさに日本顎咬合学会認定医が得意とする、臨床の総合力が必要となる。今回残存歯を守るパーシャルデンチャーの押さえておきたい原則について解説する。



### パーシャルデンチャーの設計と臨床の勘所 ～難症例に対応できる部分歯列欠損の捉え方～

谷田部 優

(千駄木あおば歯科)

欠損修復の処置方針としてインプラントの選択肢が増えているとはいえ、依然として、パーシャルデンチャーが高齢者における欠損補綴の中心であり、患者の全身的な状態や経済的な状況、口腔内の変化にも対応可能な融通性の高い修復方法である。

一方で、パーシャルデンチャーは抜歯鉗子であるとか、フルデンチャーへの通過点であると言われることも少なくない。確かにパーシャルデンチャーは、欠損を補うために残存歯や顎堤になんらかの負担を強いる修復物であり、残存歯がさらに崩壊していく危険性ははらんでいる。特に白歯部が崩壊した結果、顎位の低下や咬合平面の乱れ、対合接触の喪失など、対応に苦慮する場合も少なくない。

本認定医教育研修会では、残存歯や顎堤を保全するための臨床に即したパーシャルデンチャーの設計の考え方を解説するとともに、欠損の捉え方、リスクの読み方、欠損を修復する際の処置方針の立て方を紹介したい。その上で、部分歯列欠損の難症例とされるすれ違い咬合などの咬合崩壊症例にパーシャルデンチャーで対応する際の問題点と対応について考えてみたい。それぞれの状況に直面した時に、自身の持っている引き出しを多くすることが大切であるが、その引き出しを整理する一つの考え方を提示できれば幸いである。

### Profile KAMEDA Yukio

1988年 東北大学歯学部卒業  
1991-2002年  
東京医科歯科大学歯学部 高齢者歯科学講座在籍  
1994年 川口市にてかめだ歯科医院開設  
2014年 医療法人D&H設立  
分院の樹モール歯科開設

【所属学会と主な役職】  
有床義歯学会(JPDA)会長・指導医  
日本顎咬合学会 評議員  
日本臨床歯周療法集談会(JCPG) 副会長  
てんとう虫スタディーグループ会長、TMSIコース主宰

### Profile YATABE Masaru

1983年 東京医科歯科大学歯学部卒業  
1985年 東京医科歯科大学歯学部  
文部教官助手  
1991年 東京医科歯科大学 歯学博士  
1994年 オランダ国立ACTA  
客員研究員(顎運動)  
2000年 東京医科歯科大学歯学部附属歯  
科技工士学校 非常勤講師併任  
千駄木あおば歯科 院長(現職)  
2002年 東京医科歯科大学歯学部  
2003年 非常勤講師

2009年 東京医科歯科大学大学院医歯学  
総合研究科 臨床教授(現職)  
現在に至る

所属学会  
日本補綴歯科学会(専門医・指導医・  
代議員・東京支部理事)  
日本老年歯科医学会、日本歯科医学会、  
日本歯科理工学会、  
日本磁気歯科学会、日本歯科審美学会、  
口腔病学会



認定審議運営委員会  
委員長

村田 雅史

未だコロナ禍の収束の見通しが不透明な中、日本顎咬合学会会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。今年度は認定医教育研修会と指導医研修会を併せて「認定研修会」として2部構成でWEB開催する運びとなりました。

第1部では、これまでの認定医教育研修会の「極めるシリーズ」の最後として「パーシャルデンチャーを極める」をテーマに、この分野で大変著名な谷田部優先生と亀田行雄先生のお二人にパーシャルデンチャーの設計や臨床における勘所、難症例への対応等についてご講演をいただきます。

また第2部では「歯科界から発信する国民の健康長寿と未来」をテーマとして、日本歯科専門医機構理事長の今井裕先生より、これから本格的な運用に入る「歯科専門医制度」が国民にもたらすもの、そして自由民主党参議院議員の山田宏先生からは、重要政策である「予防医療は口の健康から」、そして「国民皆歯科健診制度」の内容等を中心にご講演をいただく予定です。

今回の研修会がこれまでと同様、会員の皆様にとって実り多いものとなることをと確信しております。是非多くの皆様のご聴講をお願い申し上げます。

## 第2部

## 歯科界から発信する国民の健康長寿と未来

### 講師

今井 裕 先生 (日本歯科専門医機構理事長)

山田 宏 先生 (自由民主党参議院議員)

### 配信期間

第1クール 2023年 2月17日(金)・18日(土)・19日(日)

第2クール 2023年 2月24日(金)・25日(土)・26日(日)



(一社)日本歯科専門医機構とは何か？  
—新たな歯科専門医の制度設計に挑む—

今井 裕

((一社)日本歯科専門医機構 理事長/獨協医科大学 名誉教授)



歯科界から発信する国民の  
健康長寿と未来

山田 宏

(参議院議員/朝日大学歯学部 客員教授)

2015年厚労省内に「歯科医療に求められる専門性に関するワーキンググループ」が立ち上げられ、歯科の専門性に関する現行の歯科専門医制度における問題提起がなされた。それを受け、2017年「歯科専門性に関する協議会」が設置され、現在の学会等が認定する歯科専門医制度は①研修の内容が適切に公開されていない②評価基準に客観性がなく、質の担保に問題がある③類似した学会がそれぞれ専門医制度を設けており、その違いが分かりにくい④専門医に関する情報公開が十分でない⑤社会環境の変化に対応可能な新たな歯科医の養成が必要である、ことなどが指摘された。これらを踏まえ、適切な教育を受けていることを担保として生涯研修システムとして歯科専門医制度を進めることは、歯科の意義、重要性、信頼性が高まるとし、第三者機構の設置は必要不可欠と結論づけられ、2018年4月(一社)日本歯科専門医機構(以下、機構)は設立された。

機構では、指摘された問題点を念頭に理念と基本方針等を策定し、その方針に基づき活動しており、これまで広告可能5領域の制度認定と5つの新たな基本領域について協議を進めている。本講演では2021年10月当機構認定の専門領域が広告可能となることが告示されたことを踏まえ、新たな基本領域のひとつとなる貴領域を中心に、現在の機構活動の進捗状況について報告するとともに、わが国における歯科の専門性を思慮し、今後の歯科の展望を見据えてみたいと思う。

我が国は世界一の高齢化率となり、総人口に占める65歳以上の割合は約29%となっています。年齢階級別医療費をみると総医療費に対して65歳以上にかかる医療費が実に61%、約27兆円にも上ります。特に今年度は団塊の世代の方々が高齢者となり、今後も医療費の増加が予想されます。このような中で、今こそ国民の健康増進と疾病予防に力を入れ、安全保障の根幹である国民皆保険制度を維持してゆく必要があります。

その切り札は口腔の健康です。近年様々なエビデンスにより、口腔の健康が全身の健康につながる事が明らかになっています。歯周病と認知症・糖尿病の関係は言うに及ばず、咀嚼や経口摂取の維持・回復は生命の維持と生きる喜びに直結しています。

事実、国は口腔の健康が全身の健康につながることを認め、皆保険制度を維持するために国民皆歯科健診の実現に動き始めました。国民が疾病に罹患してから、健康を害してから医療費を支出するよりも、健康であり続けることに投資をする方が、国民と国の双方にメリットがあるのです。

口腔の健康を維持・回復することが国民の健康を増進します。我が国の未来と国民の健康長寿を担う歯科医療について皆さんと共に考えたいと思います。

### Profile IMAI Yutaka

1973年	神奈川歯科大学歯学部卒業	1995年	獨協医科大学 口腔外科学講座 助教授
1973年	千葉大学医学部付属病院 歯科口腔外科 医員(研修医)	2001年	アメリカ合衆国カリフォルニア 大学ロサンゼルス校歯学部客員 研究員
1985年	文部教官千葉大学医学部 歯科口腔外科学講座 講師	2003年	獨協医科大学口腔外科学講座 主任教授
1988年	獨協医科大学 口腔外科学講座 講師	2014年	獨協医科大学 名誉教授・ 医学部特任教授
1991~1992年	アメリカ合衆国北卡罗ライナ大学歯学部 客員研究員	2020年	(一社)日本歯科専門医機構理事長

### Profile YAMADA Hiroshi

令和4年9月20日現在	参議院議員 (自由民主党・2期)	・岐阜県歯科医師連盟 顧問
厚生労働委員会 委員長	憲法審査会 委員	・京都府歯科医師連盟 顧問
元防衛大臣政務官	自由民主党 国民皆歯科健診実現プロジェクトチーム 事務局長	・東京都歯科医師連盟 顧問
	憲法改正推進本部 事務局長代理	・日本歯科医師野球連盟 顧問
	・朝日大学 歯学部 客員教授	1958年 東京都生まれ (64歳)
	・日本歯科医師連盟 顧問、広報委員会論説委員	京都大学法学部卒業後、松下政経塾に第2期生として入塾

## 配信期間

### 第1部「パーシャルデンチャーを極める」

第1クール 2023年2月3日(金)・4日(土)・5日(日)

第2クール 2023年2月10日(金)・11日(土)・12日(日)

### 第2部「歯科界から発信する国民の健康長寿と未来」

第1クール 2023年2月17日(金)・18日(土)・19日(日)

第2クール 2023年2月24日(金)・25日(土)・26日(日)

## 受講料

会員歯科医師：¥8,000

会員歯科技工士・会員歯科衛生士：¥5,000

会員歯科助手・準会員：¥3,000

※第1部・第2部の4講演すべて視聴可

## 申込み締切

**2023年1月18日(水)** 支払期日 1月27日(金)

## 取得単位

**30単位** (認定研修 10単位 + 指導医研修会 20単位)

※講演視聴後アンケートに回答して受講完了となり、4講演すべてを受講完了することで30単位取得

## 申込み方法

ホームページより申込み (クレジット・コンビニ決済)

**<https://nichigaku-web.com/nintei/2022/>**



- コンビニ決済の場合は後日払込票を郵送いたします
- 入金後はいかなる理由にもかかわらずご返金は致しませんので予めご了承ください
- 支払期日までにご入金がない場合は受講できませんのでご注意ください
- お使いのパソコン環境で動画が再生可能か、必ず事前にテストページで動作確認を行ってください
- 日本歯科医師会にご所属の先生は生涯研修登録が可能ですので、お申込みの際に番号を入力してください

## WEBオンデマンド 配信URL・ パスワード発行

今大会は Web オンデマンド配信となりますので、配信期間中であればいつでも視聴していただけます。参加登録とご入金の確認後、Web オンデマンド配信 URL と ID & パスワードを E-mail でお知らせいたします。(配信の1週間前頃の予定)

## 推奨環境

### スマートフォン, タブレット

iOS 14 以降 (Safari 最新バージョン)

Android OS 10 以降 (Google Chrome 最新バージョン)

### パソコン

Windows 10 以上 (最新バージョンの Google Chrome・MS Edge・Firefox),

Mac sOS 11 以上 (最新バージョンの Google Chrome・Safari・Firefox) のいずれかを視聴の際に必ずご用意ください。

お問い合わせ先  
(平日 10:00~17:00)

特定非営利活動法人日本顎咬合学会

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-8-2 山京半蔵門パレス 201

TEL.03-6683-2069 FAX.03-6691-0261 E-mail : nichigaku@ago.ac